

こんにちは 酒井まさえです

2026年9月20日 No.215 連絡先 日本共産党杉並区議団控室 3312-2111
090-9325-5676 sakaimasae.0507@gmail.com



第3回杉並区議会定例会 一般質問

障害のある人も誰もが安心して暮らせるように

9月11日、第3回杉並区議会定例会一般質問において、障害児・障害者の居場所の充実を求めました。

私は、議員になって以来、障害児の居場所の拡充を重要な課題として取り組んできました。その原点には、私自身が障害のある子どもを持つ母親として、障害のある人も、その家族も、地域で安心して暮らし続けられる杉並区にしていきたいという思いがあります。

障害児が通う

放課後等デイサービスについて

放課後等デイサービスは、学校に通う障害のある子どもに対し、放課後や夏休みなどの長期休業中に、生活能力向上や発達を支援する事業所です。同時に保護者が仕事を続けるためにも、欠かせない役割を果たしています。



9月11日 一般質問を行う

区としても、放課後等デイサービスは、障害のある子どもと、その家族を支える重要な社会資源であり、引き続き事業者支援に努めるとの考えを示しました。

必要な障害児が利用できる事業所を

事業所は、現在区内に36か所まで増えましたが、「希望する曜日に利用できない」「新しい事業所もすぐいっぱいになる」との声があります。私は、事業所への区独自補助の継続・拡充し、今後も開設・運営支援を求めました。また、夏休みなどの長期休業中の朝の受け入れ拡充などを求めました。

区は、希望日に十分利用できないことや事業所の地域的な偏りを課題と認め、事業所配置の偏在解消に努めると答弁。さらに、長期休業中の開設時間延長について、今年度開始された東京都の事業を活用し、事業者に働きかけるとしました。

事業所の支援の質の保障を

放課後等デイサービスは、単なる預かりではなく、子どもの発達や生活を支える専門的な支援であるため、区としても研修、情報共有、相談、事業所間の連携などを通じて質の向上をはかるよう求めました。

区は、区が実施している「区内放課後等デイサービス事業所連絡会」において事業者との情報共有、

(前ページから)

相互連携をはかることや、利用者、保護者、事業者の声を把握し質の向上に努めると答えました。

18歳の壁について

学校卒業後、日中活動が午後3〜4時に終わり、本人の居場所がなくなったり、家族が離職や勤務時間短縮を迫られたりする「18歳の壁」について、夕方まで過ごせる居場所づくりを求めました。

区は、夕方の居場のニーズを認め、東京都の助成制度の活用や既存施設、民間事業者など地域資源を活用した居場所づくりを、当事者や家族らの意見を聴きながら具体的に検討すると答弁しました。

今後も、年齢によって支援が途切れることなく、障害のある人と家族が安心して地域で暮らし続けられる杉並をめざし尽力します。

酒井まさえ地域後援会

みんなのつどい

ぜひご参加ください!

南部

9月27日(日)

午前10時〜12時

永福和泉地域区民センター

第1集会室

和泉3-8-18

北部

9月27日(日)

午後2時〜4時

松/木2丁目第3アパート集会

室(松/木ふれあいの家横)

松/木2-14-3

連絡先 酒井まさえ 090-9325-5676



健康の話 インフルエンザの予防を

今年は、8月からインフルエンザが流行しています。例年インフルエンザは、秋から冬にかけて流行しています。

自治体によっては、10月からインフルエンザの予防接種の実施を早めて9月から接種しています。杉並区は検討中とのことでした。

インフルエンザの症状は、急激な発熱や頭痛、関節痛、喉の痛みなどの上気道症状があります。時には、腹痛などの消化器症状もあります。

予防するポイントを挙げます。

① 手洗い、うがい、マスクの装着などの、感染対策をしましょう。

② 感染しない身体づくりが大切です。食事は3食、睡眠は7時間位とること、運動することが大事です。

③ インフルエンザの予防接種をお勧めします。
(持病をお持ちの方は、主治医に相談ください。)

症状が出ましたら、医療機関を受診するようお勧めします。

お困りのことがありましたら

酒井にご連絡ください。

